



区民の皆様へ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会

2017

第42号

平成29年4月1日発行

協議会だより

発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会/会長：青木 武雄

編集 総務広報部会 広報委員

生涯学習青少年育成部会

真田氏ゆかりの史跡めぐり

～真田一族が波乱の時代を駆け抜けた史跡探索～

NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台でお馴染みの上田城。真田一族が波乱の時代を駆け抜け、日本百名城にも選ばれている。その昔、広い平地で馬の放牧地だった、真田氏発祥の真田地区で関連史跡を歴史探索しました。

上田城跡公園は、紅葉が真っ盛りの11月10日（木）に、地域住民の方など総勢25名で訪れました。

上田城は、真田昌幸によって、上田盆地に自然の地形を生かして構築されました。堀は素掘りで、掘り上げた土をその内側へ堤状に積み上げて土塁にされました。1583年（天正11年）に築かれた城は、第一次、第二次上田合戦で徳川の大軍を撃退し、戦国大名の地位を不動のものとなりました。天下にその名を轟かせた築城技術や、400有余年にわたる城の歴史・変遷などを、上田観光ボランティアガイドの会から説明を受け、城内を探索しました。



午後には沼田へ抜ける街道沿いの真田地区で、真田氏の菩提寺として幸隆・昌幸らの墓所がある「長谷寺」、真田氏発祥当時から深い関わりがあり、氏神として厚く崇拝していた「山家神社」、上田城ができる前の、真田氏最後の山城で、三方が急斜面の上に建てられた「真田氏本城跡」など、真田地区を移動しながら、それぞれの歴史、当時の様子など説明を受けました。

波乱の時代を駆け抜けた真田三代に関連した旧跡を巡り、当時の状況に思いを巡らした研修でした。

健康福祉環境部会

男の料理教室

～簡単な調理で美味しさ抜群～

「男の料理教室」は、10月24日（月）、講師には毎回好評を得ているライスハウス^{アフ アフ}AB ABの笠原オーナーにお願いして、中部公民館第五分館で中御所公民館と共催で17名の参加で開催しました。

今回は、晩酌のおつまみにも合う、塩をベースにした「塩味おでん」と、「長芋のバター焼き」の調理方法を学びました。

「塩味おでん」は、つゆは水と塩とだしの素を隠し味に加えるだけで沸騰させます。ここに普通のおでんの具材に、手羽先を入れるのがミソです。アクを取りながら煮ます。これだけで手羽先など具材から美味しいだしが出て、淡泊な一味変わった美味しいおでんに仕上がります。

「長芋のバター焼き」は、長芋の皮を剥いて1cm位の輪切りにします。フライパンにオリーブオイルを引いて加熱し、ここに長芋を中火でゆっくり焼きます。きつね色に焼けたら裏返し、ここにバターと醤油を少し加えてゆっくりからませます。これを焼き海苔に包んで食べます。これだけの調理ですが、長芋が驚くほど美味しく仕上がります。晩酌のおつまみには最適のお供です。

誰にでも出来る簡単な調理法ですが、普段食べている味と一味変わった料理には、参加者もみんなビックリで、大変好評を得た料理でした。

今日の料理を家族にふるまえば、お父さんの腕前にビックリすること間違いありません。



富山県広域消防防災センター視察研修 ～災害に襲われた際の諸々を学習し体験しました～



最近、突然の地震、大雨による水害・土砂災害など自然災害に襲われ、大きな被害が全国各地で発生しております。

減災や防災に対する知識や技能を学び体験するために、富山県広域防災センター「四季防災館」を9月14日（水）に安全防災部会員・地域住民17名で視察研修に訪れました。

この施設は、富山市に平成24年に災害対策の拠点として完成しました。広大な敷地内には、富山県消防学校と一般が見学して体験できる、3階建ての体験型学習施設「四季防災館」などが配置されており、脚光を浴びている施設です。

また、この施設は大規模な災害が発生した際には、富山県内の災害活動の拠点施設となり緊急援助対策本部となります。全国からの援助隊はここに集結し、各現場に出動します。ヘリポートも完備しており、救助資機材も備蓄されております。

まず、1階の富山防災シアターで、ワイドスクリーンによる消防署の消火活動・救助活動・救急活動などの役割を映像で学びました。また、富山県は東部が高い山々に囲まれており、流れの速い川も数多く、昔から度々土砂災害が発生してきました。

発生メカニズムによって、がけ崩れ・土石流・地すべりの3つに分類されますが、この現象や仕組みを学びました。



初期消火体験では、映像スクリーンの火災に向けて消火器で消火する、正しい消火行動を体験しました。

地震体験では、震度1から7の揺れを震動装置で体験しました。そして、過去に発生した関東大震災・東日本大震災・阪神淡路大地震を震度や加速度・地震波等のデータに基づいて揺れを再現され、大きな地震だったことを体験しました。

この他、風雨災害体験で風速30mの暴風を模擬体験して、風の恐ろしさなどを実感した災害に関する研修会でした。

環境モデル都市の視察研修 ～再生可能エネルギーを活かしたまちづくり～

飯田市は、市民参加による自然エネルギーを導入した低炭素のまちづくりに取り組んでおります。この取り組みを研修するために、第五地区が幹事で、第一・第二・第三・第五地区住自協の環境部会の関係者による合同研修会を10月14日（金）に30名で視察研修を実施しました。

この取り組みの状況を、飯田市市民協働環境部環境モデル都市推進課の有吉主事から以下の説明をいただきました。

「飯田市の年間の日照時間は2,241時間（2013年）で全国平均1,100時間に対して日照に恵まれております。こうした日照に恵まれた特性を活かして、太陽光発電・太陽熱利用機器設置補助や木質バイオマス機器設置補助をしております。また、内閣府が全国23自治体を、環境モデル都市に選定して、飯田市も認定されております。また、公共施設の屋根を提供（20年契約）して、発電した電気の相当額を授受する等の契約締結（固定買取）のパートナーシップの太陽光市民共同発電事業を、市の支援組織と金融機関・投資家で住民主体の再エネ事業に取り組んでおります。」

このあと、「NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師」が、天竜川左岸の山の中腹に、エネルギーの自給、地元材の廃材を活用した伝統工法で、スローライフ体験、研修、交流の宿泊施設を10年前に4年の歳月をかけて建築した化石燃料ゼロハウスの燃料自然エネルギー「風の学舎」を見学しました。ここは、現代技術と伝統技術を組み合わせたエネルギーの自給を体験するために、予約制で一般に開放しております。大勢が体験に訪れているそうです。



【手作りの建物】



【太陽光発電】



【風力発電】



【屋内には囲炉裏】

裾花川河川敷清美作業 ～河川敷がスッキリしました～

6月に引き続き28年度2回目の裾花川河川敷清美を、対岸の旭山が紅葉で色づき始めた11月6日（日）の肌寒い朝8時から実施しました。

裾花川左岸の相生橋からあやとり橋間の河川敷を3班に分かれ、地域住民と甲信マツダ・八十二銀行様などの応援を得て作業しました。

夏の間に河川敷に伸びきった雑草は、10月に長野地方事務所、長野工業高校土木科の学生さんが刈り取ってくれました。今回は法面に勢いよく繁茂しているアレチウリや川沿いの雑木も入念に刈り取りました。皆さん手際よく作業され、作業した河川敷は見違えるほどスッキリしました。

また、協議会だより第37号でお知らせしましたが、県では、人口減少対策として健康増進のために、5月からスタートした「裾花川ウォーキングロード」設置事業も中御所区のJR鉄橋の上・下流の一部分が完成し、9月25日に中御所区で儀式のあと関係者や住民で歩き初めが行われました。

長野地方事務所では、濁水期の1月～3月に河川内に繁茂している雑木、雑草等の伐採工事を実施しました。

また、長野工業高校土木科の学生さんが、現地視察や測量実習を行って、この河川敷に親水広場や公園の設置を想定して具体案を検討されております。

第五地区の河川敷清美事業も評価いただき、自治体・学校などが清美事業を行うまで発展しました。

住民の皆さんも、健康増進などにゴムチップが敷かれた歩きやすいウォーキングロードをご活用ください。



各町からののお知らせ

末広町
より

如是姫まつり

長野市の玄関口駅前広場に鎮座する如是姫さんを供養する「如是姫まつり」が、10月9日（日）に厳かに執り行われました。

如是姫さんは善光寺と縁が深く、善光寺一山の僧侶、まつりに華を添える稚児衣装をまとって稚児行列に参加する大勢のお子さん、末広町役員が、かるかや山西光寺に集合しました。そして、木遣りに送られ、善光寺御法燈も大勢の観衆の前を、如是姫さんの前に設置された儀式会場まで、中央通りを巡行しました。

ここで、大本願鷹司誓榮副住職を御導師にお迎えして、御法燈が祭壇に灯されてご供養が厳かに営まれました。

この、如是姫まつりは、昭和25年に始まり一時中断した時期もありましたが、平成17年に再開され、今回は18回目で通算31回目を迎えました。この法要は、平和な世界と、子どもたちの健やかな成長、長野市の更なる発展の祈念を込められて営まれました。

如是姫さんは、昭和11年に善光寺境内から駅前広場に移られました。そして、先の世界大戦で金属類が不足して供出しましたが、昭和23年に地元の有志の方々のお力で蘇りました。昨年、長野駅前広場の改修に伴い、如是姫さんの立ち位置が、私たちと同じ目線に安置され、より親しみがわくようになりました。そして、長野を訪れる観光客などをお迎えしております。

末広町協同組合ナガノ駅前センター中島克文理事長は「これからも、如是姫さんの徳をいただき、長野市の玄関口と善光寺表参道入り口の商店街に相応しい街づくりに努力したい」と語られました。



各町からのお知らせ

岡田町 より

岡田町文化祭 ～住民の力作が展示されました～

秋の文化祭シーズンになり、岡田町では第32回文化祭が開催されました。11月12日（土）、13日（日）の両日に岡田町公民館で行われ、大勢の住民が力作作品を鑑賞に訪れました。今回は、育成会・書道部の会員の作品や、住民の皆さんの写真・生け花などが多数展示されました。



また、「山王子どもプラザ」の子どもさん達の作品、「長野美術研究所」、「岡学園トータルデザインアカデミー」の作品が特別出展され披露されました。

毎年、小坂憲次参議院議員の書道が出品されておりましたが、昨年ご逝去されましたので、今回はお亡くなりになる直前にしたためられた遺作が展示されました。



中御所 より

中御所文化芸能祭 ～今年も盛大に開催されました～

歴史ある中御所文化芸能祭が、11月19日（土）と20日（日）に中御所公民館で開催されました。

1階の大広間には、住民の皆さんの丹精込めた力作が展示されました。

2階のホールでは、芸能祭が開かれました。演目は平瀬兄弟と容子さんによる「ハーモニカ合奏&ギター独奏」、裾花小学校合唱部42名が本藤満美子先生の指揮のもと、全国大会出場で定評ある合唱力で、「ふるさと」「春の小川」「もみじ」など素晴らしいハーモニーを聞かせてくれ、観衆を魅了しました。そのあと、長野市交通政策課のお馴染みの樋口・北原の名コンビによる交通安全などを寸劇・腹話術で演じられました。夜間外出する時は、「目に付きやすい白系や明るい衣服を着用し、反射材・タックルバンド・白い帽子などで相手に判らせましょう。」とのことでした。

ほかに、カラオケ、出雲流茜会による日本舞踊、太極拳同好会の皆さんの統制がとれた武術など、全体で10種目が披露されました。いずれもプロ顔負けの腕前で、観衆を楽しませてくれました。

20日（日）には、特別企画として左手に障害を持って生まれ、ハンディを乗り越えてプロのバイオリストとして活躍されている牧美花さんのトークと、心に響く音色でバイオリンを独奏されました。

代々の役員が伝統を引き継がれ、結束して工夫と入念な準備で盛大に開催され、今回は65回目を迎えました。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせください。

〒380-0833
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp